



# Mayors for Peace Newsletter

平和市長会議ニュースレター

編集・発行 平和市長会議事務局

2005年6月1日 第22号

## 平和市長会議市長代表団 NPT再検討会議に参加



国連前に集結した市長代表団

絶の明確な約束」を果たそうとしない核保有国の姿勢を強く非難し、非核兵器地帯の拡大や若い世代の平和運動の広がりが大切であることを紹介しながら、長崎を最後の被爆地にするよう核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴えた。また、秋葉広島市長は、黒くゆがんだ被爆者の爪（レプリカ）を掲げながら「この爪は、被爆者が六十年間に渡る苦しみと、他の誰にも同じ苦しみを味わわせてはならないというメッセージを体言している。」と被爆者の願いを代弁した。そして、平和市長会議は、法律、政治、経済など、非暴力的なあらゆる手段を使って、キャンペーンを続けていくことを明言し、欧州議会、全米市長会議、全米黒人市長会議など、平和市長会議の2020ビジョンに対し世界中の多くの人々が賛同していることを紹介しながら、核兵器の臨戦態勢の即時解除及び2020年までの核兵器廃絶の実現を強く求めた。

5月1日、核兵器廃絶と戦争反対を求める平和行進に参加した。平和行進は国連前からセントラルパークまでの約3キロの道のりで行われ、世界各国から集まった約4万人が、ニューヨークの街を埋め尽くしました。ゴール地点であるセントラルパークでは平和集会が行われ、平和市長会議を代表して、広島・長崎両市

2005年5月2日から27日まで、ニューヨークの国連本部で開かれたNPT（核不拡散条約）再検討会議へ、平和市長会議の呼びかけに応じた16か国、80都市の代表者等、総勢167人（内市長51人）の市長代表団が参加した。

5月4日、国連の本会議場でNGO代表者のために設けられた特別セッションで、伊藤長崎市長は、黒焦げの少年の写真を掲げながら「これが原爆がもたらした現実です。この少年に何の罪があったのでしょうか」と被爆の惨状を示しながら、核兵器の無差別、非人道性を指摘した。そして、「核兵器廃



国連総会議場で講演する秋葉広島市長

長が演説をした。

5月2日、NPT再検討会議が始まり、コフィー・アナン事務総長が冒頭の演説で「核兵器が使われないことを保証する唯一の道は核兵器のない世界を創ること」だと強調し、今回の再検討会議の義務を明確に示した。

5月3日、市長代表団会議を国連近くのジャパン・ソサエティで行った。午前の会議では、国連の阿部信泰事務次長やバングラデシュのチョウドリー大使らがスピーチを行った。引き続き国連内の会議室で行ったランチタイムセッションでは、来賓のアナン事務総長がスピーチを行い、「核兵器の廃絶を市民が中心になり特に平和市長会議が中心になって実現できる可能性が大きいのではないかと平和市長会議への期待を述べた。その際、秋葉市長が、核兵器廃絶に向けた先導的かつ積極的な取組みを求める要請書を直接手渡した。このほか、長崎市長、ボルゴグランド市長、ミラノ市長らがスピーチを行った。午後には再びジャパン・ソサエティで代表団会議を行い、平和市長会議としての今後の取組み方針などを協議した。



国連総会議場で講演する伊藤長崎市長

## 第6回平和市長会議総会 開催案内

次のとおり総会を開催します。是非ご参加ください。

会期：2005年8月4日～6日

会場：広島国際会議場（広島市）

主催：平和市長会議

参加対象：国内外自治体、政府関係者、NGO

基調テーマ：核兵器廃絶に向けた都市の役割と取組み - 2020年の核兵器廃絶を目指して

## 非核地帯条約締約国会議 広島・長崎両市長が出席



4月26日、世界の4つの非核地帯条約締約国の代表が集まった非核地帯条約締約国会議の開会式に平和市長会議を代表して広島・長崎両市長が出席した。広島市長は締約国の代表者、IAEAのエルバラダイ事務局長、NPT再検討会議のデュアルテ議長など国際機関の代表者とともにスピーチを行い、非核地帯としてのこれまでの取組みを評価するとともに、これまで以上にリーダーシップを発揮するよう要請した。

## 平和市長会議加盟都市数 1,000都市を超える

平和市長会議では、国際的な発言力を高めるため、NPT再検討会議が開催される本年5月までに、加盟都市数を1000都市にすることを目標に、加盟都市や反核NGOのネットワークを活用した加盟呼びかけや、広島・長崎市を訪れる各国の関係者などに市長自ら加盟要請を行うなど、加盟都市増加に向けた活動を行ってきた。その結果、平和市長会議の加盟都市数は、112か国・地域、1,036都市（平成17年6月1日現在）となり、この1年間で約400都市増加した。引き続き加盟都市増加にご協力を。

### 平和市長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (財)広島平和文化センター内

Tel:082-242-7821 Fax:082-242-7452

E-mail:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

URL: <http://www.mayorsforpeace.org>

このニューズレターは古紙配合率100%の再生紙を使用しています。